

## 2016 年度 学校関係者評価報告

2016 年度の学校自己評価に基づき、学校関係者評価を行いましたので、ご報告いたします。

### 1：委員会構成

|       |     |
|-------|-----|
| 教育会代表 | 2 名 |
| 卒業生代表 | 2 名 |
| 本校関係者 | 4 名 |

### 2：委員会開催日時

平成 29 年 7 月 29 日（土）午前 10 時～12 時  
8 名全員参加

### 3：評価・提言

|                  |   |
|------------------|---|
| 学<br>校<br>運<br>営 | 広報活動<br><ul style="list-style-type: none"><li>・幼稚園や保育園、塾などへ早い時期より訪問し、信愛小学校の教育内容や活動をもっとアピールすべきである。入試説明会やオープンスクール等、幼稚園保育園対象の行事に参加する年中・年少児の割合が高いので、年中・年少児に関心を持っていただけるよう力を入れるとよい。</li></ul>   |
|                  | 私学の独自性<br><ul style="list-style-type: none"><li>・平成 30 年度より男女共学になるが、カトリック学校としての使命を自覚し、信愛の独自性を生かした教育をさらに展開してほしい。</li><li>・他の中学に進学して、信愛教育の良さを改めて感じることが多いという意見をよく耳にする。誇りある教育を今後も邁進されたい。</li><li>・宗教教育（神様の話）を 1 年生から学ぶことで、自然にボランティアができるなど、成長してからの物の見方がちがう。</li><li>・信愛の良さは、入学時から丁寧に学習、生活ともに指導していただけることである。今後も期待したい。</li><li>・卒業しても信愛教育を受けた児童は社会に大いに貢献しているといっても過言ではない。</li></ul> |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>教育内容</p> | <p>人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめに対して、保護者や担任、学校がまず現状を把握し、正しく受け止め、適切な助言指導していただいている。</li> </ul> <p>カトリック教育（カトリック学校としての使命を自覚）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祈る（手を合わせる・心を落ち着かせる）ということから、何の「何のため」「誰のため」というめあてを持って臨ませてほしい。</li> </ul> <p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は情操教育に力を入れている。</li> </ul>  |
| <p>生活支援</p> | <p>児童支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の連携体制を充実するために、今後更に教職員間の連絡を密に取り合う必要がある。</li> <li>・中学校に入学後は、小学校在籍時に比べ学習に重きをおいた環境になる。保護者側もそれを理解して子供に接しなければならない。</li> <li>・以前は、小学校からほとんどが信愛の中学に進学していたが、現在は内部進学率が約 70%なので、一貫した信愛教育を実現するためにも全員進学を目標にした指導と教育をしてほしい。</li> <li>・こつこつと努力を積み重ねてきた児童は、中学校高等学校でも活躍している。</li> <li>・小学校から高等学校、さらに短期大学まで内部進学することにより、より深い人間関係が構築できることを願っている。</li> <li>・学校生活を楽しくするために、伸び伸びと過ごせる環境作りを継続してほしい。</li> </ul> <p>生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決能力は、小学校時代にこそ得られるものだと思う。一つひとつのことに真剣に取り組むよう指導があってこそ身につくものなので、小学校の指導を今後も継続していただきたい。</li> </ul> |